

第25期選考委員会（第11回）議事要旨（案）

日 時 令和4年7月11日（月） 13:00～14:55
 場 所 オンライン開催
 出席者 梶田隆章委員長、望月眞弓副委員長、橋本伸也幹事、吉村忍幹事、菱田公一委員、
 高村ゆかり委員、溝端佐登史委員、小林傳司委員、日比谷潤子委員、武田洋幸委
 員、神田玲子委員、米田雅子委員、沖大幹委員、北川尚美委員
 （欠席） 丹下健委員、尾崎紀夫委員
 （事務局） 三上局長、金子次長、上村企画課長

【審議内容等】

○第25期選考委員会（第10回）議事要旨（案）について

- ・ 前回の議事要旨（資料 1）について確認を行い、了承を得た。

○定年により退任する会員の連携会員への就任について

- ・ 定年により退任する会員の連携会員への就任について、会員から定年後も引き続き連携会員として日本学術会議の活動に参画いただける旨の回答を得たため、候補者の名簿を作成し、7月27日の幹事会に提出することとした。

○第26-27期日本学術会議会員候補者の選考要領（素案）について

- ・ 日本学術会議の在り方の検討内容によっては、選考プロセスや今後のスケジュールに変更を迫られる恐れはないか、との意見があった。
- ・ 会員候補者の年齢について、過度の制約とならないよう、27期末まで務められる者が「望ましい」とするのが良いのではないかと、との意見があった。
- ・ 選考に当たって委員会等への出席率を参照することについて、日程調整上たまたま都合がつかない場合などもあることから、出席率が低いことだけを理由に一律に線を引くことは適当ではないのではないかと、との意見があった。
- ・ 所属する分科会・小委員会のない連携会員を候補者とするについて、検討する必要があるのではないかと、との意見があった。また、連携会員は新たな期の発足直後の分科会の立ち上げ時期のタイミングを逃すと分科会への所属が事実上難しいという現状をまず改善すべきではないかと、との意見もあった。
- ・ 会員候補者の年齢構成について、「次世代への継承を考慮」するとの意図を伝えるため、会員の定年制等の情報を参考として脚注に加えてはどうか、との意見があった。
- ・ 会員の地域分布について、前期において会員の選考に苦慮したことを踏まえ、過度の制約とならないよう、従来の表現を若干緩和した方が良いのではないかと、との意見があった。
- ・ 学協会等からの情報提供について、会員等からの推薦とは情報量が大きく異なっており、公平・公正な選考とする観点から、提供を求める情報を拡大してはどうか、との意見があった。
- ・ 学協会等からの情報提供を求める機関・団体について、選考要領を決定する前に各機関・

団体に協力依頼することについて確認した。

- ・学協会等からの情報提供を求める人数の上限（6名）について、すべての機関・団体が上限いっぱいの方の情報提供を求めると、人数が多くなりすぎるのではないか、との意見があった。また、機関・団体ごとに上限数を変えるのは難しいのではないか、との意見もあった。
- ・情報提供の際の女性の割合について、地域分布等他の多様性の一つとして考慮するようお願いすることでよいのではないか、との意見があった。また、日本の女性研究者比率が世界で一番低い状況に鑑み、女性割合を示して引き続き女性比率を高めることが必要ではないか、との意見もあった。
- ・任命後の会員情報について、海外アカデミーの例に倣って顔写真を公表することが考えられる、との意見があった。また、会員の顔写真を公表する場合には、イラストも認めるのか等について整理が必要ではないか、との意見もあった。
- ・会員の性別に係る情報について、推薦を受け付ける際は候補者の性別を把握する必要があるが、任命された後は、個々の会員に紐づけずに会員構成に関する統計情報として公表すればよいのではないか、との意見があった。

○次回選考委員会について

- ・次回選考委員会は、7月27日（水）12時30分から開催することを確認した。

以 上